

令和5年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第4回 議事録

●日時

令和5年9月16日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●欠席者(敬称略)

【常任理事】専務理事(溝口)、副会長(前刀)、企画広報副委員長(林)

【理事】魚屋町組理事(小川)、坂下大本町組理事(中村)、内田組理事(若山)、
鶴飼町組理事(松田)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 「東海三県山・鉾・屋台連合会(仮称)」・第11回日本の祭シンポジウム(9月17日フロイデ)

② 「秋の犬山城下町まつり」(10月21・22日)

10/21(土) 車山曳廻し、10/22(日) からくり町巡り

③. その他

●配布資料

① 秋の犬山城下町まつり参加状況

② 秋の犬山城下町まつり交通規制図

③ からくり町巡りスケジュール案

- ④神社曳き込み位置
- ⑤各町内運行予定図
- ⑥秋の全国交通安全運動行事へのご参加依頼（お願い）
- ⑦ツーストンよりローソクについての回答状
- ⑧犬山城下町各町内世帯数・人口動向
- ⑨犬山祭車山保存修理補助金交付実績表

●議事内容

I.

① 会長挨拶

・会長： みなさんこんばんは。今度の秋の城下町まつりについて皆さんにご意見をお聞きして進めていきたいと思う。

私は会長として、副会長に、どのように会を運営していけばいいのか、という相談をしている。その中で、もっと祭を楽しくしていかなければならない、といったご批判をいただいている。前回の理事会でも異論が出た。私は、激しい議論をしあうことには違和感を感じていないし、議論のないところは前進しないと思っているし、異論や反対が出ることは大変結構なことだと思っている。

私もお伝えしたいことは皆さんとご相談しながら進めたいと思っているが、会長を受けている以上、私の信念も少しはお伝えしたいと思っている。

今回付則した資料は、先日京都の山・鉾・屋台保存連合会の会議が久しぶりに行われ、全国のユネスコ無形文化遺産登録の祭の代表者と、役所の関係者が京都にいた。そして熱心な議論をした時にお借りした、大津祭と長浜の祭の資料を犬山流にアレンジした資料である。全国山・鉾・屋台保存連合会の議論における中核となった、時代が多様化してきて分かりにくくなったため、分かりやすい祭のあり方を議論しなければならない、という話の流れで出てきた資料である。犬山祭保存会が出来て50年となるが、50年前と現在とを比較した、祭関係町内の世帯数と人口動態の変化となる。16町内の世帯数の移動であり、車山のある13町内は13%戸数が減少している。練り物を入れた16町内としては12%の減少である。

人口は、この50年間で13町内平均で55%減っている。内田は人口は増えているが、16町内全体では平均47%減っている。人口が約半分に減ったということであり、この減少傾向は止めどもなく続いている。てこの若い人は7割近い人が関係町内以外の方に支えられているというのが現状である。

秋祭りの議論に関係ないのではという意見もあるが、この秋の時期に、10年ほど先のことを議論する時期ではないかと思ひ、これからの持続していく犬山祭の練習や訓練の議論をするのも良いのではないかと思ひ提案させていただいている。

本日の会議について。今回の会合で大事なこととして、企画案は若い人が作ったものである。てこ委員会、伝統文化委員会、企画広報委員会の方々はとてもしっかりしている。とても有能なリーダーの方ばかりであり、若い人たちに誇りと愛情を抱いているが、その方々が練り上げた案であることを頭に入れていただきたい。理事の皆さんのご苦勞も十分分かりつつ、皆さんの合意でもって保存会を進めていきたい。今後、ご町内で問題が生じたら、てこ同士で話し合っていたいただきたい。困難が生じた時には、てこ委員長にも相談していただきたい。

役所の言い分も踏まえた上で皆さんの方針をお伺いすると思うので、どうぞよろしくお願ひいたします。もう一つお伝えしたいことがあります。

大口町主催の弁論大会で、行われたVTRをみていただきます。魚屋町(町内には住んでいない)のお囃子をした小学校の女の子が犬山祭の虜になってくれました。我々としても、子供は、こんなにも祭をやって喜んでもらえるということを皆さんに伝えたいです。

報告事項

- ・副会長：先月、秋田県の角館まつりを見学してまいりました。角館は武家屋敷が有名で枝垂桜が武家屋敷を飾ることで有名だが、そこを車山が通ることで知られている。最大の見せ場である車山と車山とのぶつかりは、二通りがある。本来のものと

観光目的のものがあ、我々は観光目的のぶつかりしか見られなかったが、保存会の事務局から先方の関係者の方とも連絡していただき、お話をさせていただきました。

衝撃を受けたのが、全ての方が祭衣装を着ているということであった。なぜなのかとお聞きしたら、我々はユネスコ無形文化遺産もいただいておりみっともない祭はできないとのことだった。振り返ると我々の犬山祭はまだまだ未完成だなと感じた。

翌日は同じくユネスコ無形文化遺産のなまはげの資料館を見学した。

- ・会長代行：衣装のことも含め非常に確立されており、我々も参考にしながら今後も進めていきたいと思う。

II. 議題

①「東海三県山・鉾・屋台連合会（仮称）」・第11回日本の祭シンポジウム（9/17）

- ・会長代行：明日、フロイデで日本の祭シンポジウムが開催される。基調講演、パネルディスカッションがある。参加者をまだまだ募集しているので是非ご出席いただくようお願いしたい。

②「秋の犬山城下町まつり」（10月21・22日）

10/21(土) 車山曳廻し、10/22(日) からくり町巡り

- ・会長代行：配布資料に、参加町内が記入してある。車山曳き廻しは8町内おのご参加のお返事をいただいている。事務局にも問合せをいただいている。
- ・余坂：余坂は、前回のように、本町が自町内の車山蔵と一緒に入っているので、余遊亭に行ってくださいという話をずっとしている。余遊亭が、市の関連施設とのことで、市と調整をしていただいた。

余坂の町内の提案として、町内から出る時に提灯を付けさせていただきたい。人や車の手配が大変なので、ということと、帰り車山は井上印刷の角から帰らせていただきたい。

春の時は時間が無く町内を回れなかったもので、せっかくやるのであれば秋は町内を回らせていただきたい、それに伴い交通規制をお願いしたいということ、また4つ目は、13町内の過半数以上の参加がない場合、自町内も参加を見合わせたい、ということで、これらは承諾をいただきました。

もう一点、雨が降った場合、本町の車山が野ざらしになり迷惑がかかってしまう。提灯のこともあるので雨天時は自町内は不参加とさせていただきたい、という提案をさせていただいた。その点についても承諾いただけるのであれば、参加させていただく予定。

- ・ 会長代行：8町内参加ですが、自町内から提灯を付けての参加は5町内ある。これについてはどう考えているか。途中で雨が降ったらこの状態で置いておくということですね。
- ・ 雨天に関しては、春と同じように執行部の方で決定をして各町内へ連絡してはどうか。ただ、途中で雨が降ってきた場合は各町内の判断で曳き込みをしてはどうか。
- ・ 会長代行：自町内で提灯を点けるということは、車両や運搬に関して何も準備しないということだと思うので、緊急の場合どう対処されるのかということもある。提灯については運んだり片づけたりする負担が多いということだと察するので、5町内と3町内ときっちりした指針がとれていない状況を運行をするよりも、新たな案で理事の皆さんにご了承をいただければと思うので、一度てこ委員会の方から提案させていただく。
- ・ てこ委員会：8町内の内5町内が提灯を点けるということだが、本当は城前に13町内来ていただきたいかったがそれが根本的に崩れている。車両や人手、負荷があるから町内で点けていきますということだったので、変更案として、大手門の信号まで規制をかけて、駅前通りからこちらを、運行図なしで自由に運行していただくという形をとる。皆さんそのような形で昼車山をやっていただけないか。そして町内に戻って提灯を点けて夜車山をやっていただけないか、というご提案をさせていただきたい。城前に行くというのが無くなるので申し訳ないが、その方向でお願いしたい。

- ・会長代行：5 町内の皆さんは提灯を点けられるということは、過分に負担がかかるのだろうということを慮り、町内の車山蔵で点けていただいて夜車山をやっていたら、雨の心配も無くなり、町内にもすぐ帰れるので安全策としてどうかということで三委員会から上がって来たので、ご提案させていただきます。

- ・本日の行程表でなく、城前には集まらず、昼車山についても規制区域の中で、夜車山も提灯を点けて同じく区域内で運行してはどうかという話か。

- ・てこ委員長：神社前に集まるということはなくなる。

練屋町は昼車山で自由に動いていただき、夕方車山蔵へ戻り、提灯を点けていただいて自由に夜車山をやっていたら良い。外町に関しては、一時から二時の間に中本町の方へ入っていただきたい。外町から一番近いのがどんでん館なので、その辺りで夜車山の提灯を点けていただく。熊野町は魚屋町の車山蔵前をお借りして点ける。寺内は自由に動いていただき、車山蔵へ戻り提灯を点けていただき、また自由に動いていただく。余坂も自町内を回っていただければ良い。

- ・交通規制図は変更なしということか。

- ・てこ委員長：大手門から城前は規制をかけない。皆さんが提灯を点けて出るということは町内に負担がかかっていると判断し、変更をした。それでお願いしたい。

- ・練屋町：最初の方針では神社前に 13 輻揃えて昼車山を飾って、そこで提灯を点けて各町内に戻るという方針だったと思うが、それが変わったということか。そうすると、自町内で変更を報告する時に困る。

- ・会長代行：13 輻揃えるという案がまず不可能となって、当初の目的が変わってしまった。そして、自町内で提灯を点けられて待機したいということは、町内のご負担が大きいのではないか、ということから出た変更案である。

- ・寺内町：神社前で提灯を点けるということで話が進んでいたのに、神社前で提灯を点けないのであれば、辞退させていただきたいと思う。

- ・外町：神社前は絶対にやらないという方向はもう決まっているのか。

- ・てこ委員長；本来 13 輻揃えたいというのは、来年の春に向けての話であったためであり、少ないとなると検証ができなくなる。
- ・外町：てこ委員でそのような方針であれば町内で調整はするが、個人的には城前に行きたいと思っている。
- ・余坂：突然の話であるので、この話を町内に持って帰って話をしなければならぬがまだ消化できていない。
- ・練屋町：そのような変更となると、本日いただいた運行資料も意味がなくなってしまうのではないか。
- ・てこ委員長：提灯を点けて行くということ为先週聞き、負担がかかっているということで、行かないことにした、ということである。
- ・副会長：夜車山をやる以上、13 輻の提灯を神前で点けるということに、来年の春に向けたシミュレーションという意味があった。
- ・練屋町：議論の初めの時点で、夜車山は出ないという町内があった。
- ・副会長：一番最初に我々が提案した時の目的の話である。やるやらないはその後である。
- ・では今回やらないということはどうか。
- ・神事ではないので神前にこだわる必要はないのでは。
- ・会長：以前からのこの議論を積み重ねてきている。てこ委員会でも議論をしてきており、てこ委員会でも議論は、本来夜車山は北組と南組に分かれるのではなく、神社前に集結しようという希望がある。それをこの際練習しようとして提案したところ、皆さんのご意見が分かれたので、もう一度調整しようという話である。
- ・練屋町：13 輻揃わないのは前回の理事会ではっきりしているものであり、なぜ今回突然こういう話になったのか。
- ・会長：町内が出ないということであるなら、それで良い。これは神事ではないし、強制はしない。
- ・練屋町：町内で夜車山を出すということで決めてきたのに、突然方針を変えられたら、どのように説明すれば良いのか分からない。

- ・会長代行：やる条件としては、神前で提灯を点けるということではなかったか。
- ・鍛冶屋町：城前に行くということであればまた検討することになると思うが、自町内で曳き廻すという案であると、各町内で車山がぶつかる恐れがあるのでは。ぶつからないようにするには、下本町、名栗、外町と同じような交通規制図にさせていただけると、廻ることができるのでは。そうでないと、どこかでかなりぶつかる恐れがあるので、廻れる形にさせていただきたい。
- ・会長代行：駅前通りは交通規制することができない。
- ・鍛冶屋町：名栗、下本町の交通規制はできないか。
- ・てこ委員長：駅前通りを横断する時間も必要となるし、その横断の時間帯も警察に提出する必要がある。そういった事が難しいので、自町内での曳き廻しを提案させていただいている。
- ・春のお祭ではないので、もっと自由に、例えば晴なら提灯で出てもらえば良いし、天候が怪しいなら近場でやってもらうというのはどうか。外町は雨天なら車山組みはしない予定。
- ・てこ委員長：天候が怪しい場合は、8町内の皆さんと保存会役員とで、当日の朝、春と同じように、協議するためにどんでん館に集まっていただく予定。
- ・外町：今の予定表を元に、臨機応変で神社前まで行ける町内は行けるようになれば良いのでは。そうすれば動きも読みやすくなると思う。せっかくやるのであれば神社に行きたい気持ちはある。
- ・伝統文化委員長：てこ委員長の仰ることに賛成の立場であるが、諸々の理由で今回、町内の曳き廻しという形に変更しようというご提案になったが、神社前まで行けるとい町内があるのであれば、行っていただいても良いのでは。神社前まで行けないなら参加しないという町内に対して、それならば参加しなくても良いです、とまでいうことではないと思う。
- ・練屋町：提灯を点けて行ってはいけないのか。

- ・提灯を点けて行って、全損などあった場合の補償の心配をされているということだと思う。それでも良いということであれば、やるという形にしても良いのでは。
- ・てこ委員長：提灯を点けていく場合、車両の手配等をされていないが大丈夫ですか、という確認はさせていただいている。そういったことを含めての案である。
- ・練屋町：天候のことを含めての案ということなら、練屋町は前の週が車山組みなので、天気が悪ければ組めず、参加できないということも出てくる。
- ・てこ委員長：時間は十分にあるので、車山組みが終わってからゆっくり出て来ていただいて良い。
- ・てこ委員長の意志を理解していただき、その上での提案であるので、その点をご理解いただきたい。
- ・雨の日に提灯が破損する心配をしてくださったということですね。
結論としては、最初の通り、町内で点灯して神前へ行き、その後町内に戻ってくる、という当初の予定で良いのか。その辺りは町内の判断で良いということか。
- ・てこ委員長：それで良い。提灯は高いので、提案として提示させていただいたということである。
- ・雨天時に車山を出すかどうかの判断はどうするのか。朝の段階で、保存会で判断できるならそれが一番だが、やはり当事者で危ないと思ったら帰っても良いのか。
- ・てこ委員長：余坂町さんが、余坂の交差点を渡られる時間帯を知りたいので、後ほどご連絡いただきたい。警察が各二名付く予定。
- ・余坂町：後日ご連絡する。
- ・会長代行：どのような段取りをするかということは後日てこ委員会で検討していただき、またお知らせさせていただく。
雨天時の集合時間についてもまた改めてご連絡させていただく。
- ・外町：子供の衣装は町内判断で自由に金襴袴を着て良いのか。

- ・自町内では金襦袢を着る予定はない。
- ・自町内は金襦袢を着る予定。
- ・てこ委員長：てこさんが衣装を着けているので、子供さんにも着物を着ていただきたい。
- ・練屋町：警固班がどうしても足りないため、保存会に4名ほど応援をお願いしたい。
- ・てこ委員長：今回参加されないご町内にてこさんには警固として応援の連絡はする予定。何人来ていただけるかは未定。
- ・伝統文化委員会：できればお囃子の方も正装していただけるとありがたい。
- ・クリーニング代もかかるし、金襦袢までは着なくても良いのでは良いと思ったが、皆さん金襦袢を着られる予定なのか。
- ・会長代行：タイトな予算の中でやることであるし、町内判断で良いのではないかと思う。今のところほとんどのご町内が金襦袢を着られるとお聞きしている。
- ・他の町内が金襦袢を着るといふのなら、自町内でも着る予定。そのように町内で話し合う。
- ・今後、犬山祭を好きになっていただく子供たちを増やしていくという意味で、今回は車山曳き廻しで8町内出ていただくということで、綱を子供さんに引いていただけてはどうかという話が出てきている。今後、運行図が出来上がってくる中で、こちらから各ご町内にご相談にうかがう予定なのでご承知おきいただきたい。車山に綱をつけて、当日の子供さんの参加を募り、できれば今後のことも考えてやっていきたいと思っている。
- ・新町：からくり町巡りのみ参加予定だが、雨天時に、やるのかやらないのかという判断はどのようになっているのか。
- ・伝統文化委員長：雨天時のスケジュールについて。まったくできないという場合もあるし、人形や準備、片付け等大変なご苦勞もあると思うので、雨天時には、事前のスケジュールは各ご町内の判断で無視していただいてよい。曖昧な天気の場合には、やれそうならやっていただいてよいし、やれなさそ

うということならやらなくても良い。現実的にはやれるのであればやっていただきたいところもあるが、実際には臨機応変なご対応というのは難しいかなとも思う。天気が悪い時は、場合によっては車山蔵の中で臨機応変でやっていただければありがたいが、なるべくやれる方向でやっていただければありがたい、というお願いとなる。

- ・鍛冶屋町：去年は新町と本町がからくり館で行ったが、雨天時はどんでん館でやるという話もあったが、現実問題として中にあるので、難しいのではないかという話もあった。お客さんがどの程度入るか分からないという状況もあるので、入らないようなら臨機応変で対応してはどうかという話も出た。昨年は天気が良かったので外で行ったが、雨天時の対応など、伝統文化委員会と検討の上で臨機応変に対応していただければ良いのではないかと思う。

また、鍛冶屋町は町巡りの二回目はやめることになったので、よろしく願いしたい。前回の理事会で、からくり町巡りでどんでん館でのスケジュールに問題があるのではないかという議論が出て、役員会を開いた結果、一回だけやるということになった。

- ・伝統文化委員長：伝統文化委員会の方数名でチームを作って交通整理をお願いする予定だったが、それを止めて、それぞれ各町内や各場所で、伝統文化委員を中心にして、自町内のところで、各町内さんで負担の無いようやっていただければと思う。他の町内の交通整理は行わない予定。

天候について、あまりにも中途半端な天候だった場合、朝のメイン会場である今仙さんの所で、伝統文化委員か代行の方に、朝の9時に集合していただき、自由にやっていただく際の判断等をお伝えしたいと思う。

- ・会長代行：議題としては以上となる。

9月21日に秋の全国交通安全運動行事があるので、参加可能な方はよろしくお願ひします。

また前回報告のあった魚屋町のローソクの問題について、ツーストーンから報告があるので、資料をご覧いただきたい。

- ・会計：理事会後、13町内に秋の催事についての参加費をお渡しするので、よろしくお願ひしたい。
- ・会長代行：次回開催日について。10月7日にて開催予定なのでよろしくお願ひしたい。
- ・副会長：本日はお疲れ様でした。理事会前に三委員会の会合を行ったが、そこで初めて、てこ委員会からの、針綱神社の集結をあえてやめるという案を聞いた。これは各ご町内のためにてこ委員会が考えて下さった案であるが、各ご町内の皆さんの針綱神社に行かれるという意味を持っていらっしゃることが分かったので、今回の全国の山鉾連合会の関係者の皆様にも犬山祭の素晴らしさを見ていただけるようにしたいと思っている。本日はありがとうございます、またよろしくお願ひいたします。
- ・会長代行：7日までに何かありましたらご連絡ください。

●次回日時

令和5年10月7日 19:00～

●次回場所

からくり館二階

●記録日

令和5年9月23日

●記録者

竹村

●署名

石田芳子

多和田兼道